

陶磁器勉強会(基礎編)の参加申込について

この勉強会は、少人数制(10名程度)による勉強会として10回シリーズでの参加を推奨しますが、都合により特定のテーマのみの参加も可とします。

但し、参加希望者多数の場合は、1社1名とさせていただきますので、予めご了承ください。

参加ご希望の方は、下記「参加申込書」にご記入いただき、窯業技術センターあて FAX でお申し込みください。

FAX:0956-85-6872

申込締切 令和7年7月3日(木)

不明な点がございましたら右記担当者までご連絡ください。

長崎県窯業技術センター 担当者:陶磁器科 <small>こうの</small> 河野、 <small>かりの</small> 狩野 TEL 0956-85-3140
--

陶磁器勉強会(基礎編)参加申込書

参加者氏名		会社名	
連絡先	TEL/	FAX/	
主な担当業務			
参加希望テーマ (希望する方に○を記入)	<input type="checkbox"/> 全テーマ参加 <input type="checkbox"/> 特定テーマ参加		
その他	※とくに知りたい内容、興味がある内容を自由にお書きください		

※特定テーマのみ参加を希望される方は、下記カリキュラムの参加希望欄に「○」を記入してください。

回	開催日	テーマ	概要	参加希望
1	7月10日(木)	陶磁器原料	主な陶磁器原料と陶土の製造方法	
2	7月21日(木)		陶土の粒度と検査方法	
3	8月7日(木)	石こう型・成形技術	石こうの種類と型について	
4	8月21日(木)		各種成形方法の特徴について	
5	9月11日(木)	釉薬	釉薬の種類と施釉について	
6	9月25日(木)		釉薬の発色について	
7	10月9日(木)	焼成技術	焼成炉の種類について	
8	10月23日(木)		焼成方法について	
9	11月13日(木)	品質管理技術	欠点の種類と内容について	
10	11月27日(木)		鉄粉スポサシ不良の発生原因の見つけ方	

陶磁器勉強会(基礎編)カリキュラム

■期 間：令和7年 7月～11月

■時 間：18:30～19:30

(陶磁器原料のみ 18:30～19:50)

■場 所：窯業技術センター 2F 視聴覚研修室

回	開催日	テーマ	概 要
1	7/10 (木)	陶磁器原料 (武内)	<p>■主な陶磁器原料と陶土の製造方法 陶磁器原料には、陶石・けい石・粘土・長石・石灰石など、多くの種類があります。陶土メーカーではこれらの原料を調合して、焼成条件に応じた陶土や釉薬を製造しています。原料の特徴に応じた製造方法について説明します。</p>
2	7/24 (木)		
3	8/7 (木)	石こう型・ 成形技術 (河野)	<p>■石こうの種類と型について 各種石こうの特徴や陶磁器製造用の型について、実物を見ながら説明します。</p> <p>■各種成形方法の特徴について 排泥鑄込み成形や圧力鑄込み成形、機械ロクロ成形、ローラーマシン成形など量産のための各種成形方法の特徴や使用する陶土の調整方法等について説明します。</p>
4	8/21 (木)		
5	9/11 (木)	釉 薬 (狩野)	<p>■釉薬の種類と施釉について 釉薬を構成している原料の役割や釉薬の種類及び釉薬のかけ方について説明します。</p> <p>■釉薬の発色について 釉薬の着色に使用される顔料と色釉の作り方及び着色顔料の添加量を変えた場合の発色の変化についてサンプル等を用いて説明します。</p>
6	9/25 (木)		
7	10/9 (木)	焼成技術 (河野)	<p>■焼成炉の種類について 普段、見慣れている窯はどのような窯でしょうか。ここでは、産地で使用されている窯の種類や素焼き、本焼き(酸化と還元)、上絵焼成といった焼成方法の違いについて説明します。</p> <p>■焼成方法について センターの焼成炉を用いて、どのような手順で焼成するか説明を行うとともに、焼成中の素地の様子を観察します。</p>
8	10/23 (木)		
9	11/13 (木)	品質管理技術 (高松)	<p>■欠点の種類と内容について これまで技術相談で対応した陶磁器に発生する欠点の種類と主な欠点の具体的内容とそれらの再発防止方法などについて、写真を使いながら説明します。</p> <p>■鉄粉、スポサシ不良の発生原因について 鉄粉やスポサシ不良が発生した製品を見ながら、どなたでも不良原因が分かる調査の方法について、実習形式で解説します。参加者が、不良品を持って来られた場合、その原因も一緒に探します。</p>
10	11/27 (木)		